

展示即売会開催の御知らせ

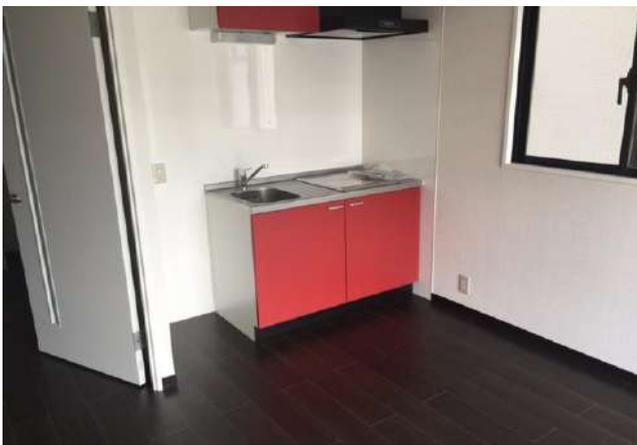
材木屋と言う商いを考える機会にもしてください。

11月21日（土曜日）と11月22日（日曜日）の2日間の日程で第11回服部商店展示即売会を開催します。

今回の目玉商品は最近超品不足の優良ナラ材・ホワイトオーク材の現地挽き・ホワイトオークの服部商店直輸入原木から製材した商品・レッドオーク材の現地挽き・アメリカ北部のインディアンリゾベーション地区から直輸入した原木から製材した商品の5つのアイテムのナラとオーク材を同時に見比べられる絶好の企画です。

このような非常に特徴の有る5種類の材を比較検討できる機会を提供するのは、本来は材木屋の当たり前の仕事であると思っておりますが何故か行ってこなかったのです。と言うよりそんな考えも思いも無かったと言う方が正しいかも知れません。服部雅章も含めて。

このような企画を開かないといけない立場に追い込まれているのです。それは下記の写真です。



上記の写真はもっとも新しい賃貸住宅の部屋の写真です。左はウォールナット色の紙のシート張りフローリングです。右はカエデのキャラクターマークを印刷した紙のシート張りフローリングです。左の物件は余りに揃い過ぎている為に余り好印象は有りませんが、右の物件は不揃いの中に揃っている本当の木に近い表現になっています。

これは我々材木屋の脅威です。元来木材はある意味揃っていない事が特徴でそれを活かす設計が木を活かし気に訴えかけ心と身体の休息を与えるのが一番の効能でした。しかし生産労働人口の減少、労賃の高騰、超人手不足、熟練労働者の不足等の事が最近表面化『国立競技場の問題・横浜のマンションの傾きの問題等々』したのでは無いでしょうか。この問題を材木屋の生き死の問題と捉えないと5年先にはひよっとすると我々は存在しえないと思うからです。そうかと言って我々がゼネコン業に進出するのでは有りません。大事な事は材木屋とは何の為に存在するのか、これから先何をしたらマーケットの信頼を得られるかをしっかりと考え行動出来てこそ、後継者も育つ良い環境になるのではないかと考えているからです。

現在の世界の森林の需給バランスは中国国内の在庫調整がどうなるかで劇的に変化します。と言うのはこんな話を最近聞いているからです。中国国内の粗鋼の生産能力は、需要の三倍程度の生産能力が有り、又国営会社の為にガバナンスが利きにくく、現状で言うと拡大路線を取りながら構造改革を進めないとリーマンショック位の超経済危機が来るかも知れない。インドネシアの新幹線工事の獲得・アメリカの高速鉄道工事の獲得・南沙諸島の埋め立て等々積極的に外に出なければ、やっつけられない共産党体制になっている姿を見れば解るはずだと言うのです。それを材木に当てはめると中国国内の木製品の生産能力は需要を大きく上回っています。その証拠は中国国内からネットで盛んに小生の会社まで売り込みに来ているのを見れば簡単に解ります。国内・輸出を合わせても恐らく鉄同様に生産設備が有り余っているのだと想像できます。8年ほど前に中国に一度行きましたが、木工機械は日本より高品質の機械、主にドイツの機械が主流だったことを思い出します。

まだ今シーズンの中国国内の正確な情報は掴んでいませんが、昨年以上に価格が上がる事は無いとは聞いていますが、下がるとは聞いていません。

ナラを例に出せば、日本中で一番多くナラ材の原木を製材しているのは北海道の製材業者です。その彼らがロシア材から大幅に撤退だと聞いています。全くロシア材の採算が取れていないそうです。今シーズン、ロシア材の入荷はゼロにはなりません、マイナス70%と言う事は考えられます。と言う事はナラ材の価格は上がる事は有っても下がる事は無いのです。又ナラ材の影響の余波が有るのが洋酒ダルに使われるホワイトオーク材です。このホワイトオーク材は約20種類位有るそうです。アメリカ国内で製材されている製品はほとんどのメーカーの材に20種類のホワイトオークが混じっているそうです。

ホワイトオークの一部には洋酒樽に向かない材も有るそうですが、正直、現地挽きでこの材が本当のホワイトオークでこの材がそうではありませんとは軽々しく言う事は出来ません。その事も皆様に見て頂くいい機会だと考えています。

又レッドオークの現地挽き・北部のインディアンリゾベーション地区のレッドオークとはどんな色合いなのか等の事を知って頂く良いチャンスだと考えています。

お値段も合わせて比較検討が出来る機会ですので是非来社してご確認ください。



服部商店自家工場生産ナラ27ミリ柎目



直輸入のホワイトオーク4/4インチ板目板



服部商店自家工場生産ホワイトオーク27ミリ柎目



この原木から左の板を製材しました。



直輸入のホワイトオーク4/4インチ板目板



服部商店自家工場生産レッドオーク27ミリ柎目

5種類のナラ・オークを見て頂く事は今回のメインイベントです。5種類とも高品質な商品ですが価格差がどれくらい有り、品質の差がどれ位有るのかを知って頂く事が最も大事な仕事であると考えています。

小生の今回の企画で最も大事な事は皆様に知ってもらう事です。そして合わせて購入して使ってください。それがプロの材木屋⇔プロの物作りに携わる方達⇔本当のプロの作った商品を購入して頂ける消費者の皆様と繋がり日本の木に携わる関係者全体の繁栄につながると考えています。

展示即売会にはそれ以外の商品も数多く有ります。是非皆様のご来場をお待ちしています。

国産材は大事だが国の政策に頼るな。

日本産の広葉樹の品質は世界一です。と言う言葉を数えられない位、服部新聞で書いてきましたがもはや使えない死語になってきたかも知れません。こんな強烈な言葉を書いたら国産材のサクラ・クルミ・カツラ・ホオ・センをご使用されている方は、途惑うか、それとも迷惑な事を言うなと思われるかも知れませんが、頭の隅にでも入れておいて頂けたら何年か先に必ず高い・物づくりに役立つと小生は思います。

国の広葉樹原料に対する考え方と言うか政策の方向性は決まっていると言うか、仕方がないのです。天然の森林を守りながらその恵みの一部しか伐採出来ないのです。そこまで追い込まれているのです。今月旭川の銘木市で北海道森林管理局の偉い方が、国有林の積極的な利用を我々にお話しされていますが、もう優良材は一部（東京大学演習林）を除き枯渇しているのです。中間から下材は、生産余力は有りますが優良材が無くなってきているのは、木に携わっている方達は全員解っています。しかしどう行動したら良いのか解らないと言うのが本音だと思います。小生も以前はそうでした。しかし立ち止まっていたらそれは死を意味するのです。

積極的に情報開示をする一方、売れる材を供給するのでは無く消費者から将来求められる材を生産供給していく事が我々の仕事です。例えば無垢のフローリングが必要なら日本流の巾が一定（105ミリ・90ミリ）長さも継いで1820ミリの商品を使うのではなく、欧米流の正しいフローリング（巾は4種類の乱巾）長さも乱尺を使う事が日本の森林から生産される下級材をさばく事になれば、ヨーロッパの様な広葉樹の森林経営が出来る様になるのではないのでしょうか。

*ヨーロッパの森林経営術の話・小生の大先輩のフランスオークを扱った方のお話。

ヨーロッパ特にフランスの森が有名です。例えばフランスのオークは有る一定レベルまでは天然で育てます。そして途中から人間が積極的に関与し枝打ち、間伐をするのだそうです。この方法を育林と呼ぶそうです。

木は本来育ちより氏と言われていています。人間は逆で氏より育ちと言われますが、この言葉は有る程度優良材が日本国内に存在する時には使っても良い言葉だと思いますが、そんな事を言える状況でない事を証明する1枚の写真が以下です。



10月16日に旭川にて開催された第389回の展示会場の写真です。出品数量約1,000M3です。このうち約3%しか優良材は有りません。残りは工場原料（フローリング・集成材等の工業化商品になる）と小物しか用途の無い下級材です。しかしここで考えて頂かないといけない事が実は有るのです。昔はもっと多くの優良材が存在していた事実です。それをただ単に森に存在する優良材を伐採して搬出し市に出している

だけの低付加価値の商いを続けてきた証拠なのです。もし50年以上昔から良い森林を育てるにはどうするか、森林の生産方法から製材品の作り方、住まい作りに関係する部材の使い方等々山のように有る問題点をクリアーしていたなら、こんな荒れた森林に成り下がる事は無かったのではなかろうかと思えます。

超売り手市場

久しぶりに愛知県に南洋材のアガチス材の原木の仕入に出かけて来ました。何時も可愛がってくれている問屋さんの原木ですが、現場に到着するともう90%以上売れているのです。

南洋材も他の樹種と同じく大幅な為替変動と現地の森林保護政策の為に日本国内に入荷する量は一年ごとに大幅に減ってきています。2年くらい前はサラワク州のビンツル産とバラム産のアガチス材原木が輸入されていましたが、現在はビンツル産だけです。そして日本に輸入されているのは上級材だけで中間材~下級材は何故だか解りませんが台湾にサラワク州から輸出されているのです。日本国内を1とすれば台湾は3くらいの割合だと思います。

国内のアガチス材のマーケットは20年くらい前の20分の1以下に小さくなっています。住まい作りに使われる量はたぶんマイナス95%かも知れません。しかし少しはマーケットが有る事と、有る面アガチス材を辞められない業者がいる事も事実だと思います。正直小生は両方有るかも知れません。長年続けてきたアガチス材のノウハウを後世に伝えないと行けない義務みたいな物が有るのか、それは自己満足かも知れません。

1日で100%完売状態のアガチス原木。購入者は静岡から関西まで約20社位だと思います。

アガチスの一番大事なポイント、鮮度は普通以上だと思いました。



購入予定の原木です。この2本以外選択肢は有りませんでした。

展示即売会の注意点

ネット（メール）及びFAXにてご注文頂ける方は別紙の注文専用用紙にてご注文下さい。専用用紙を添付ファイルにて送信下さい。この用紙にてご注文頂いた方は5%の割引を実施します。又服部商店の問い合わせフォームからご注文頂く場合必ず展示即売会と明記してご注文ください。

11月1日~11月22日PM4時迄ご注文頂いた方に割引（5%）を実施致します。

第11回展示即売会のお知らせ

11月21日（土曜日）11月22日（日曜日）に開催致します。

注文専用用紙としてご使用下さい。

今回のメインイベントは5種類のナラ・オーク製材品を見比べて購入出来るチャンスです。



前回の展示場

- 1、来場者にもれなくカレンダーたてをプレゼント

来場者だけの超お買い得情報も数多く用意しています。



- 2、遠方で来場出来ない、当日用事が有って来られないが是非購入したい商品が有る方達に 50,000 円以上お買い上げの方に 5%の割引を実施します。（手形の方は除く・通常のお取引にて）

記入方法 例 タモ 34 ミリセット TM34PP-1 55,000 円 →52,250 円

会社名	
担当者名	
ご住所	
電話番号	
E-mail	

必ず右のアドレスにお返事下さい。→masaaki@hattoriwood.co.jp (株) 服部商店 072-438-0173
このメールをお送りしているアドレスは送信専用の為に受信出来ない為です。〒596-0011 木材町 16-1
FAXにてご注文頂く方はこの用紙をお使い下さい。→FAX 072-422-8577